

ACTIVESCALE™ X100

大規模な管理が容易、高耐久性、
拡張性に富んだオブジェクト・ストレージ



DATASHEET

主な特長と利点

配備が簡単

必要なものは電力とネットワーク接続のみ

スケーリングが容易

データの増大に合わせてスケールアップまたはスケールアウトにより容量を増加

高いデータ耐久性

BitDynamics、BitSpread、バージョンング、高度なErasure Codingを使用してデータを保護

システム可用性

地理的に分散したシステム設計によりレプリケーションを行わずにデータを保護

TCOを削減

導入費用、TB当たりの電力費、運用費を削減

アプリケーション/環境

クラウド・サービス・プロバイダ

- Backup-as-a-Service (BaaS)
- Storage-as-a-Service (SaaS)

メディアおよびエンターテインメント

- プロダクション・メディア・アーカイブ
- オンプレミスS3メディア・ターゲット

生命科学および医療

- ゲノム・データ・バンク
- 医療用画像

バックアップとアーカイブ

- テープとの統合
- アクティブ・データ・リポジトリ

分析ストレージ階層

- データ・レイク・リポジトリ

ActiveScale™ X100システムは、ビデオなどの非構造化データの1176TB(1.176PB)から8232TB(8.232PB)(Raw)までのスケールアップと、74PB(Raw)を超える規模のスケールアウトを可能にする統合オブジェクト・ストレージ・ソリューションです。同ソリューションを導入することで、データ増加にタイムリーに対応し、ビジネス目標を容易に達成できるようになります。高いデータ耐久性と簡単に高速なデータの取り出しを必要とする大規模なデータを対象に、ActiveScaleシステムは、投資を保護しオペレーションを容易にするための「Data Forever」アーキテクチャを促進することを目的として設計されています。

インストールが簡単で使いやすい

ActiveScale X100システムは、迅速な稼働と運用が可能な統合システムを提供することで、DIYアプローチがもたらす課題に対処します。各システムは、ソフトウェア、ネットワーク、ハードウェアのカテゴリ別に垂直に統合されています。このシステムをお客様のデータセンターにインストールすると、同システムは、Amazon S3™と互換性のあるオブジェクト・インターフェイスを提供します。大規模なストレージの管理で効果的かつ効率的な管理を実現するためには、ActiveScale SMや、クラウドベースのストレージ分析ツールであるActiveScale CMのようなリアルタイムのシステムツールが必要となります。

比類のないスケーラビリティ

基本構成を使用して運用を開始し、ストレージ要件が高まった時点でスケールアップ・モジュールを追加するだけで容量を増やすことができます。各ラックは、最大6GB/secのスループットを通じて高い生産性を実現します。また、ActiveScale X100システムは、最大9台のラックによるスケールアウトをサポートしており、74PBを超えるRaw容量を実現できます。さらに、再均等化を行わずにシステムを増強できるほか、動的データ配置によりフォークリフト式のアップグレードを回避できます。これにより、ITスタッフは将来の消費容量を見越して事前購入する必要がなくなり、予算や容量ニーズにより適した運営が可能となります。

卓越した可用性と耐久性

卓越したデータ可用性とデータ整合性は、ワールドクラスのクラウド・インフラストラクチャにとって不可欠です。ActiveScale X100は、特許取得済みのBitSpread®テクノロジー(RAIDに代わるレートレスなErasure Coding)を使用して、3つの場所にデータを分散するように設定することで、卓越した可用性を実現できます。データセンターの完全な機能停止が発生した場合であっても、3サイト構成により、継続的な運用を実現する継続的なデータ可用性が提供されます。また、BitDynamics™は、バックグラウンドで実行されるデータ検証により高度なデータ整合性を提供します。それに加えて、ランサムウェア攻撃に対する防御を行うために、オブジェクト・バージョンングは、侵入までにデータを回復する機能を提供します。

統合が容易

Quantum StorNext®アプライアンスと組み合わせることで、ActiveScale X100を高性能のワークフロー環境へと統合できます。同アプライアンスは、NAS接続タイプのストレージとして追加することで容易に統合が行えるほか、総合的なストレージ・インフラストラクチャの一部としても結合できます。これにより、スケーリング、コスト管理、コンテンツ保護、ワークフロー統合が、シームレスなインターフェイスを通じて行えるようになります。

	基本構成	スケールアップ・モジュール	標準(基本+6個のスケールアップ・モジュール)
容量¹			
設定容量(raw)	1176TB (1.176PB)	1176TB (1.176PB)	8232TB (8.232PB)
最大マルチパート・オブジェクト・サイズ	50TB		
ソフトウェア			
オペレーティングシステム・ソフトウェア	ActiveScale OS 5.x		
管理インターフェイス	リアルタイム・システム管理コンソール、CLI、RESTful API		
システム分析	ActiveScale CM(クラウドベースのストレージ分析サービス)		
セキュリティ	転送時のSSL/TLS ではデータ暗号化にAES-256を使用、保存時のデータ暗号化にはAES-256を使用		
データ保護	BitSpread: 高度なレートレスErasure Coding+動的データ配置		
SW/FWアップグレード	ローリング・ファームウェア・アップグレード		
特性			
性能	クライアントのスループット性能は最大で6GB/sec		
データ耐久性	最大99.9999999999999999%(9が17個)		
接続			
プロトコル	RESTful S3		
クライアント接続	60Gbps/base(6x10Gb/sec)		
物理サイズ			
ラック寸法	2060 x 600 x 1200mm		
設定重量	713kg		1,010kg
電力			
消費電力 – 公称/最大(W)	2.45/3.72KW	0.65KW	6.37/7.45KW
消費電力 – 公称/最大(KVA)	2.5/3.8KVA	0.67KVA	6.5/7.6KVA
電力特性	208~240V、冗長およびインテリジェント電源付きの単相または三相交流		
使用環境			
冷却	冗長高性能ファン		
温度(動作時)	10~35°C、高度960mを超える場合300mごとに1°C下がる		
温度(非動作時)	-40~66°C、高度3,000を超える場合300mごとに1°C下がる		
湿度	8~90%(結露なし)		
コンプライアンス	FCC/IES-003、CE、VCCI、CISPR 22、CISPR 24、KN22、KN24、EN60950-1 2nd edition、UL60950-1 2nd edition		
BTU/時(公称/最大)	6.31/6.92 K BTU/h	4.70/5.15 K BTU/h	15.71/17.22 K BTU/h
二酸化炭素排出量(最大)	0.001トン	0.001トン	0.003トン

¹ ストレージ容量を表す場合、1MBは100万バイト、1GBは10億バイト、1TBは1,000GB(1兆バイト)、1PBは1,000TBに相当します。利用可能な容量は、オブジェクト・ストレージ方式やその他の要因により、Raw容量によって異なる場合があります。

当製品の販売に関するお問い合わせは取扱店までお願いします。

<http://www.quantum.com/jp/>

Quantum

日本クアンタムストレージ株式会社

TEL. 03-5786-0086

©2019 Quantum Corporation. All rights reserved. QuantumおよびQuantumロゴはクアンタム社の登録商標です。その他すべての名称またはロゴは、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本カタログに記載の仕様については予告なく変更することがあります。